

質 問 順 位	10	質 問 者	山 本 正 信 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
1. 行財政改革	1. 第1期財政健全化計画の成果とコロナ禍での次期計画について	1. 事務事業、組織人件費の見直し、歳入確保対策の各目標について令和元年度末でほぼ達成したと報告がありました。また、経常収支比率も93.9%と目標達成でしたが、病院事業会計の慢性的赤字体質の改善がなされませんでした。併せて今年の新型コロナウイルス感染症の影響によりさらなる赤字の増加が報告されています。 病院事業における新型コロナウイルス感染症による減収分に対して特例地方債が認められましたが、今年度はそれで乗り切れると思いますが、次期計画の見直しが必要と思われます。病院事業へ法定上限までの繰り入れを行うと、たちまち基金残高が減少し、危機的状況に陥ると予想されます。計画では、職員給与カットの方向になっていますが、考えを伺います。		
	2. 効率的な行政運営と職員数について	1. 人件費抑制には職員数を減らすか、給与を引き下げるか、二つの方法があります。職員給与を抑制しすぎるとモチベーションの低下が避けられません。そこで市民サービスの低下を招かない範囲で効率的行政運営を図り、職員数の見直しが必要と思いますが、市長の考えを伺います。		